

# 西原町障がい者地域活動支援センターあるていー

## ～開所のお知らせ～

障がい者活動支援センターは、家庭から地域へと踏み出すためのスタートとなる場所です。どのような方も安心して過ごせる場所となっており、単に障がいを持った方が集まる場所ではなく、地域への窓口としての役割も担い、地域のみならずとの交流や貢献活動も展開していきます。

対象は、障がいを持つ方をはじめ、その家族、そして交流を希望する方であり、各種相談に加え手芸、パソコンといった創造的・生産的活動、地域交流、さらに地域の清掃などの地域貢献などを通じて、家庭から社会へはばたくための第一歩をサポートしていきます。



受付です



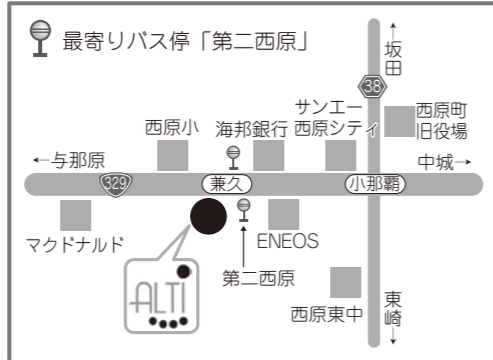
ゆっくりくつろげる場所です



バリアフリートイレ



指導員の仲村咲菜子さん センター長の安次富雅美さん 私たちがお待ちしています



西原町障がい者地域活動支援センターあるていーの開所式が、11月25日に行われました。安次富雅美センター長は「みなさんが気軽に通える、心のよりどころになれるような場所にしたい」と決意を語りました。



### 【西原町障がい者地域活動支援センターあるていー】

住所 〒903-0104 西原町兼久170番1 1F  
電話 943-5436  
開所時間 9:00～17:00(土日・祝日は休み)

## 不動産のことなら創業33年の南新物産におまかせください!

おかげさまで「売買仲介実績 1,100 件突破!!」  
不動産のことでしたら 何なりとお申し付け下さい  
沖繩県知事免許(9)第0928号  
あなたのホームプランナー  
**南新物産**  
http://www.nanchan.co.jp

## 約5か月間の研修を修了! たくさんの出会い、学び、体験を報告

西原から多くの住民が海外に移住した歴史をふまえ、母町である西原町と移住先との友好親善、交流を促進するため実施している海外移住者子弟研修生受入事業の修了式と研修報告会が、11月28日に西原町中央公民館で開催されました。

今回の研修に参加したワカモト ブルノ エイチさん(ブラジル)、饒平名 真屋 ジェシカ パウラさん(アルゼンチン)、アキイ 城間 リーシ ジューミーさん(ペルー)は、専門研修や文化研修、さまざまな方との交流などを経験。約5か月の滞在を経て、この日の修了式を迎えました。

3人は修了式で、小橋川明教育長から修了証を受け取りました。続いて行われた研修報告会では、文化研修の成果発表として琉球舞踊を舞い、三線を弾きながら沖縄民謡を歌い、エイサーを披露しました。スピーチではブルノさんが「初めて(身元引受人の)家族と会うことができ、嬉しかった」、ジェシカさんが「いろいろなことを知ることができ、視野を広げることができた」と振り返り、リーシさんは「沖縄で学んだいろいろなことを自分の国に持ち帰って、将来に生かしていきたい」と今後の決意を語りました。



研修の成果を堂々と披露しました



研修生の身元引受人や研修を受け入れた多くの方が見守りました



左からリーシさん、ブルノさん、ジェシカさん

## 若者が集結し、沖縄の未来を考える



20代の学生や社会人が集まり、沖縄のことについて知り、未来を考えるイベント「沖縄わかむん100人会議～in文教のまち」(わかむんプロジェクト主催)が、11月3日に西原町中央公民館で開催されました。

参加者は5つのグループに分かれ、教育、経済、平和、国際問題、セーフティーネットというテーマで議論。自身の立場や経験から、意見を出し合いました。グループによっては、まったく反対の意見がぶつかり、議論が白熱する場面もありました。

主催者の代表を務める新垣潤一さんは「自分たちのような若者が沖縄のまちづくりに参画するにはどうしたらいいかを考え、企画した」と説明。イベントを振り返り、「これを機会に人のつながりが生まれて、これからのまちづくりにつながる新しいムーブメントを起こしていきたい」と今後の抱負を語りました。

## サワフジの詩がホールに響く

字嘉手苅出身の故平敷静男氏が作詞し、石川静枝さんが作曲した「サワフジの詩」の歌碑建立のためのチャリティーコンサート(サワフジの詩歌碑建立期成会主催)が、11月15日にさわふじ未来ホールで開催されました。



西原町の指定天然記念物サワフジの花木のさらなる普及と、故平敷氏の平和を願う心を広く顕彰する歌碑建立の趣旨に賛同し、ハワイアンフラダンスや大正琴などの団体が出演。約400名の観客が訪れたコンサートの最後には、林美伶さんの歌うサワフジの詩に合わせて手話ダンスが披露されました。

## 民生委員がボランティア清掃を実施

役場周辺の環境美化を目的に、民生委員のみなさんが12月3日に役場周辺のボランティア清掃活動を実施しました。

清掃活動に参加したのは、第1民児協(民生委員児童委員協議会)の地域生活支援部会のメンバーで、部会の自主活動の一環として行われました。

部会長を務める眞境名一雄さんは「地域の環境美化を通じて、民生委員のことを少しでも知ってもらいたい」と趣旨について語りました。



弁当箱やたばこの吸い殻など、たくさんのごみを回収しました